

一般財団法人岩木振興公社安全報告書

弘前市岩木山百沢スキー場

そうまロマントピアスキー場

(令和4年度版)



(岩木山百沢スキー場 ゲレンデ)



(そうまロマントピアスキー場 ゲレンデ)

1. 利用者の皆様へ

日頃より、岩木山百沢スキー場・そうまロマンТПィアスキー場のご利用と索道事業に対し、ご理解頂きまして誠に有難うございます。当社はスキー事業理念におきまして、お客様の安全確保を第一に掲げ、法令の遵守と共に安全輸送に最大限に努めております。

令和4年度もおかげさまで数多くのお客様にご来場を頂きましたが、前年同様に安全運行・安全確保に努め、無事故で年度営業を終えることが出来ました。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、令和4年度の安全輸送にかかわる当社の取組みや経過、実態をできるだけわかりやすく公表するものです。

皆様からの声を今後の輸送の安全に役立てたく、積極的なご意見をいただければ幸いです。

指定管理者（一財）岩木振興公社 代表理事

2. 基本方針・安全方針と安全目標

安 全 方 針

- 一、怖がるな停止ボタン 怖がるなクレーム
- 一、丁寧な乗車 丁寧な降車
- 一、コミュニケーションが安全を築く

一般財団法人岩木振興公社 代表理事

この三つの標語は、索道に従事するスタッフをはじめ当スキー場全スタッフからの応募の中から選ばれたものです。この方針策定であるように、トップからのコミットメントと現場からのボトムアップという、安全を確保する為に組織的取組みを、日頃から実施しております。

(1) 基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、代表理事以下従事員に周知・徹底しております。

1) 一致団結して輸送の安全の確保に努めます。

私たちは「安全な輸送こそが最良のサービスである」を念頭に、輸送に携わる社員すべてが力を出し合って安全輸送に努めます。

2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規定をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。

私たちは、「規定の遵守が安全の基礎」として、索道従事者として知っていなければならないことを、十分に理解し、厳正に守り、きちんと実行します。

3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。

私たちは、「監視が事故の芽を摘む」をモットーに、輸送の安全確保のために、お客様の動静に充分注意します。施設の異常に鋭敏に気配りします。周囲の気象状況の変化に予断無く対応します。

4) 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱をします。

私たちは、「安全確認が事故防止の第一歩」を原則に、思いこみ、～だろうの行動は絶対いたしません。危険があるときは、ためらわずリフトを止める勇気を持ちます。

5) 事故・災害が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとります。

私たちは、「人命第一」を肝に銘じ、事故は起こしません。万一、不足の事故が起こっても、最善の方法を見つけ被害者の救出に全力にあたります。

6) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。

私たちは、「開かれた社会」を目指します。問題点は速やかに解消するよう努力します。そのために、透明、正確な情報伝達に心掛けます。

7) 常に問題意識を持ち、必要な改革に果敢に挑戦します。

私たちは、「日進月歩」を心掛け、QC活動に積極的に参画します。

(2) 安全目標

索道運転事故（索道人身障害事故）件数ゼロを目標

区分	項目	内容
定期的な目標	設備不具合による事故	乗客の死亡を伴う事故を発生させない。
	人身障害事故	5年間の発生件数をゼロとする。

3. 事故等の発生状況とその再発防止措置

(1) 索道運転事故（索道人身障害事故）

発生件数 0件

(2) 災害（地震や暴風雨、豪雪など）

発生件数 0件

(3) インシデント（事故の挑発）

令和4年度、東北運輸局へのインシデント報告はありません。

(4) 行政指導等

令和4年度、行政指導はありません。

4. 輸送の安全確保に対する取組みについて

(1) 人材育成

当社では、輸送の安全確保を第一に、シーズン営業開始前及びシーズン中に施設及び取扱についての安全教育を実施しています。知識及び技能の向上に努め、安全確保に取り組んでおります。



索道係員教育

毎年シーズン営業開始前には索道従業員に対して安全作業と乗降客への取扱いなどの基本的な内容から応用まで教育し初歩的なミスによるトラブルが発生しないように努めています。



安全教育

今年度はコロナウィルス感染拡大防止対策の講習とマスク着用・手洗い等の実施などソーシャルディスタンスの確保に努めています。

(2) 緊急時対応訓練

毎年、シーズン営業開始前及びシーズン中、全スタッフによる総合避難訓練及び救助訓練を実施しております。



消火訓練



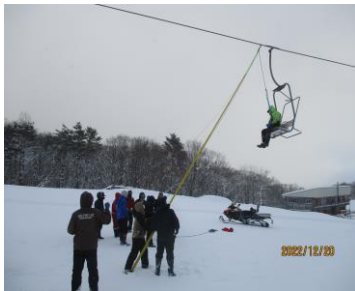
避難訓練

従業員による総合避難訓練を実施し、スキー場の各部署の連携、消防署との連携を再確認しております。



救助訓練

速やかに適切な行動をとるために日頃から緊急時を想定した訓練を実施し、各機関との連携を強化しております。



救助訓練

(3) 安全のための投資と支出

安全維持・向上のため、毎年計画的に修繕を行っております。

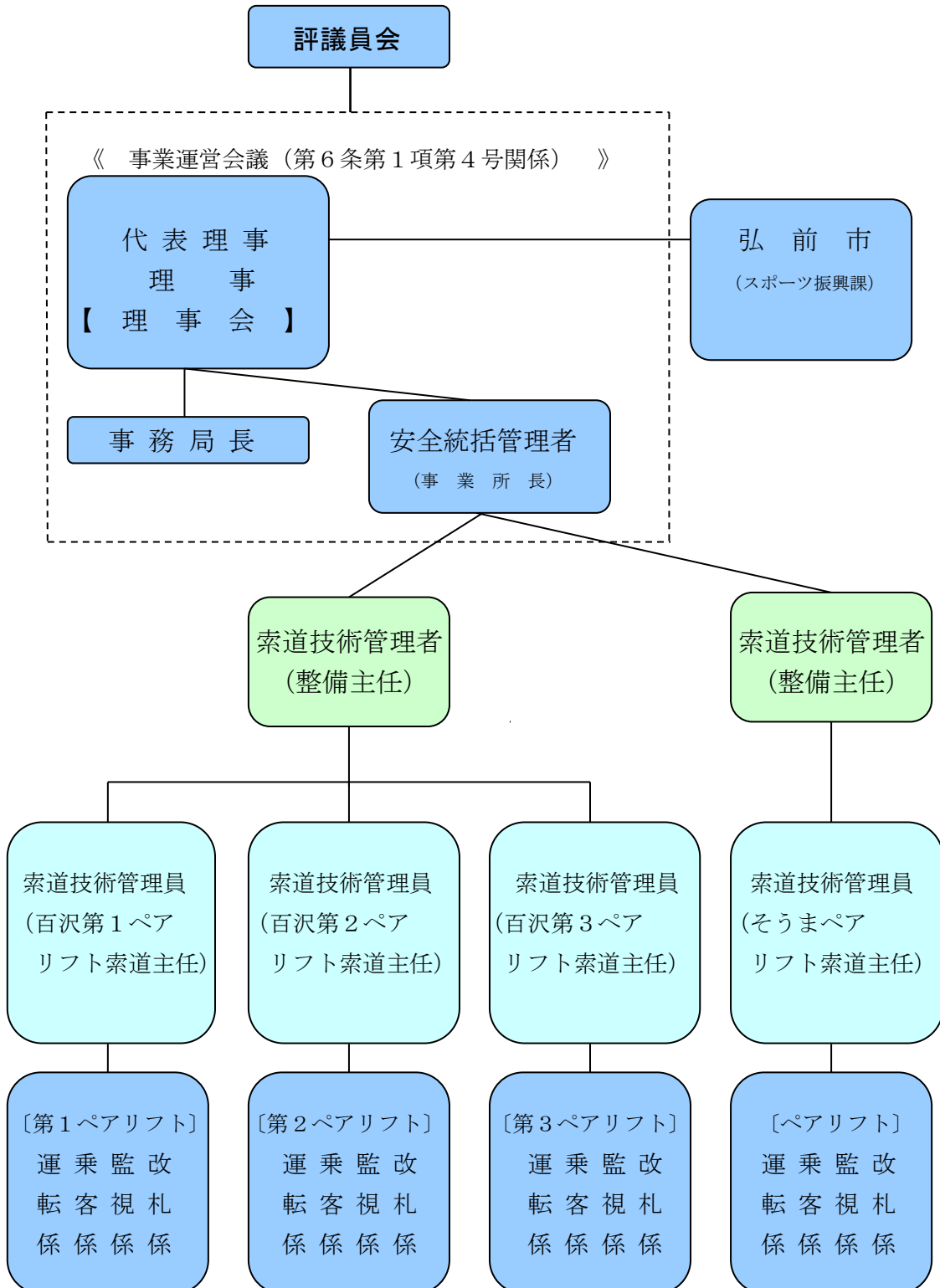
令和4年度の主要整備実施項目として

索道名称	整備項目
岩木山百沢スキー場第1・2・3ペアリフト	振動検査実施
	索輪・握索機・滑車グリースアップ
	振れ止めプラグ交換・索輪交換・タンク交換
	索条切詰
	原動機オーバーホール・9号支柱塗装・支柱梯子交換
	搬器緩衝ゴム交換
	握索機分解清掃
そうまロマンピアスキー場 ペアリフト	主原動(モーター)オーバーホール
	減速機オーバーホール
	握索機分解清掃
	振動検査実施
	索輪グリースアップ、索輪交換

5. 当社の安全管理体制

代表理事をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。
ヒヤリ・ハット報告制度を導入し、日々の業務に反映させるとともに、報告・連絡・相談を徹底し業務に努めております。

安全管理規定組織体制図



代 表 理 事	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	索道事業の輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
整備主任 (索道技術管理者)	安全統括管理者の指揮の下、安全輸送に対する教育訓練、索道の運行の管理、索道施設の保守の管理その他の技術上の事項に関する業務を統括する。
索道主任 (索道技術管理員)	索道技術管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守の管理その他の技術上の事項に関する業務を管理する。
事務局 長	輸送の安全確保に必要な設備投資、人事、財務に関する業務を統括する。

6. 利用者の皆さまの連携とお願い

(1) お客様の声をかたちにし、お客様の期待に応えられるよう努めてまいります。

お客様からお寄せいただいた声を真摯に受け止め、より信頼され安全なサービスが提供できるよう役立てます。

(2) リフト乗車時の注意事項

- 1) 乗降時の際、不安なお客様はご遠慮なく、係員に申し出て下さい。
- 2) リフトには正しい姿勢で乗車し、手すりにしっかりお掴まり下さい。
- 3) 空き缶・煙草の吸殻・その他の物品を、乗車しているリフトから投げ捨てないで下さい。
- 4) 搬器から飛び降りたり、搬器を揺らさないで下さい。
- 5) 衣服・携帯品などが搬器に挟まれないようご注意下さい。
- 6) 改札後は係員の指示に従って下さい。

7. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお聞かせ下さい。

〒036-1343

青森県弘前市大字百沢字東岩木山国有林内

指定管理者 一般財団法人岩木振興公社

TEL 0172-83-2215 FAX 0172-83-2855

E-mail yukiyama@iwakisou.or.jp